

愛知県がん診療連携拠点病院の指定について

名古屋圏域において、国立病院機構名古屋医療センター、名古屋市立大学病院、名古屋第一赤十字病院及び名古屋第二赤十字病院を「地域がん診療連携拠点病院」として厚生労働大臣あてに推薦することについて、平成19年8月31日の名古屋圏域保健医療福祉推進会議において、了承いただきましたので、厚生労働大臣に推薦したところ、推薦どおり、平成20年2月8日付けで4病院が「地域がん診療連携拠点病院」として、指定されました。

がん診療連携拠点病院の指定状況

本県におけるがん診療の中核を担う都道府県がん診療連携拠点病院として、愛知県がんセンター中央病院が厚生労働大臣から指定を受けています。

また、地域のがん診療の中心的役割を果たす地域がん診療連携拠点病院として、名古屋大学医学部附属病院を始め13病院が厚生労働大臣から指定を受けています。

医療圏	医療機関名	指定日
全医療圏	愛知県がんセンター中央病院	平成19年1月31日
名古屋	名古屋大学医学部附属病院	平成19年1月31日
	社会保険中京病院	平成19年1月31日
	国立病院機構名古屋医療センター	平成20年2月8日
	名古屋市立大学病院	平成20年2月8日
	名古屋第一赤十字病院	平成20年2月8日
	名古屋第二赤十字病院	平成20年2月8日
海部	愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院	平成20年2月8日
尾張東部	公立陶生病院	平成19年1月31日
尾張西部	一宮市立市民病院	平成19年1月31日
尾張北部	小牧市民病院	平成20年2月8日
西三河北部	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	平成19年1月31日
西三河南部	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	平成20年2月8日
東三河南部	豊橋市民病院	平成20年2月8日
計	14病院	

* がん診療連携拠点病院の整備については、厚生労働省において指定要件の見直し等について検討が行われた結果、「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」が改正され、平成20年4月1日付けで施行されました。

既にごがん診療連携拠点病院の指定を受けている病院については、平成22年3月末までの間は、改正後の指針に基づくがん診療連携拠点病院として指定を受けているものとみなされます。

このため、平成22年4月1日以降も引き続き拠点病院として指定を受ける場合は、平成21年度中に指定更新を行う必要があります。